

道後温泉

道後 REBORN

神の湯階下入浴券



© TEZUKA PRODUCTIONS



道後温泉の由来

宝永7年（1710）に完成した郷土地誌「予陽郡郷俚諺集」よしょうぐんごうりげんしやうには、道後温泉は白鷺により発見せられ、人々がその靈験を知って入浴するようになったと伝わります。白鷺は道後温泉本館の塔屋の上や、正面玄関のランプなど本館の様々なところにモチーフとして残り、その伝説は今も人々により語り継がれています。現在の建物は神の湯本館てんたまが明治27年、又新ゆうしん殿・靈の湯棟ゆが明治32年、道後湯之町初代町長伊佐庭如矢いさにわゆきやによって改築されました。また南棟及び玄関棟が大正13年の建築で「道後温泉本館」として平成6年12月国の重要文化財に指定されています。